

2006 年 冬のボーナス予想調査結果

今冬のボーナス、7割が昨年並みと予想
～「減りそう」は17.3%に減少、昨年よりも良くなっている～

日本経団連の調査によると、大手企業は収益回復を背景に今冬のボーナスは過去最高の支給額になりそうな見込みである。毎月の給与はそれほど増える傾向にないため、個人消費の面からもボーナスに寄せる期待は大きいと思われる。そこで当研究所では昨年に引き続き、熊本市内の生活者を対象にボーナス支給予想についてアンケート調査を実施した。

【調査結果のポイント】

1. 今年の冬のボーナス予想は「増えそう」が昨年調査より 1.2 ポイント増加し 12.7%、「ほぼ同じ」が 10.4 ポイント増加し 70.0%となり、逆に「減りそう」は 11.5 ポイント減少して 17.3%にまで低下した。昨年に引き続き見通しは良くなっていると言える。
2. ボーナスから支出を予定している内容は「預貯金」(92.3%)が最も多く、「買物」(91.9%)、「交際費」(87.3%)が続いている。支出を「増やす」が昨年を上回った内容には「旅行・レジャー」などがあるが、全体としては堅実さがうかがえる結果であった。

【調査概要】

1. 調査時期：10月25日～11月6日
2. 調査対象：熊本市内在住の女性500人
3. 調査方法：郵送（「第16回 熊本の消費予報調査」の一部として実施）
4. 有効回答数：260（同調査の中で、「ボーナス有り」と回答した人。有効回答率52.0%）
5. 回答者の属性

(1) 年代別

	人数	%
20代	47	18.1
30代	84	32.3
40代	68	26.2
50代	51	19.6
60代	10	3.8
全体	260	100.0

(2) 世帯主の勤務先別

	人数	%
民間企業	194	74.6
うち県外企業	70	26.9
うち県内企業	124	47.7
公務員	42	16.2
その他	24	9.2
全体	260	100.0

1. ボーナス支給予想

ボーナス見通しを尋ねたところ、「増えそう」は12.7%で昨年調査を1.2ポイントとわずかに上回り、逆に「減りそう」は11.5ポイント減少して17.3%にまで低下した。「増えそう」は依然として1割台にとどまっているが、「減りそう」は昨年、今年と連続して10ポイント以上減少しており、支給見通しは明らかに改善しているのが分かる。また「ほぼ同じ」は昨年より10.4ポイント増加して70.0%に達しており、多くは“増えもしないが、減りもしない”と予想している(図表1)。

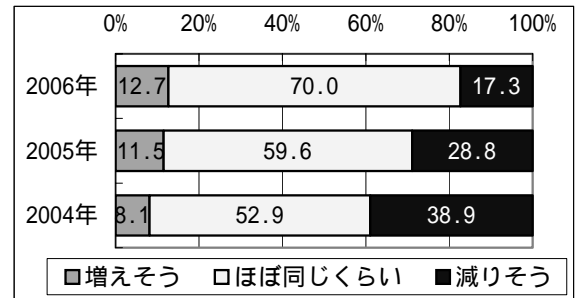
2. 年代別予想

年代別にみると、60代を除く全ての年代で「減りそう」が昨年より減少していた。なかでも40代と50代ではそれぞれ12.8ポイント、17.2ポイント減少し、「ほぼ同じ」は7割を超えていた。教育費や住宅ローンの負担が重い世代にとってボーナスが「減りそう」という不安感が和らいできたのではないかとと思われる。また、30代で「増えそう」が20.2%と2割を超えているのが目立っている(図表2)。

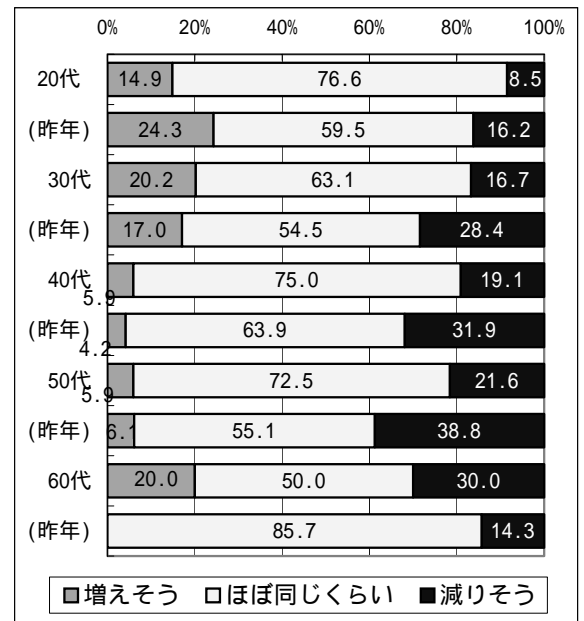
3. 勤務先別予想

勤務先別にみると、民間企業全体では「増えそう」が15.9%、「減りそう」が14.5%と「増えそう」が「減りそう」を上回った。県外に本社がある企業では「増えそう」が20.0%と高いのが、また県内に本社がある企業では「減りそう」が11.3%と低いのが目立ち、業績回復を反映しているものと思われる。一方公務員では「減りそう」が昨年に比べ20.6ポイントも減少したものの35.7%と3割を超えており、県や市での基本給引下げが影響しているのではないかとと思われる(図表3)。

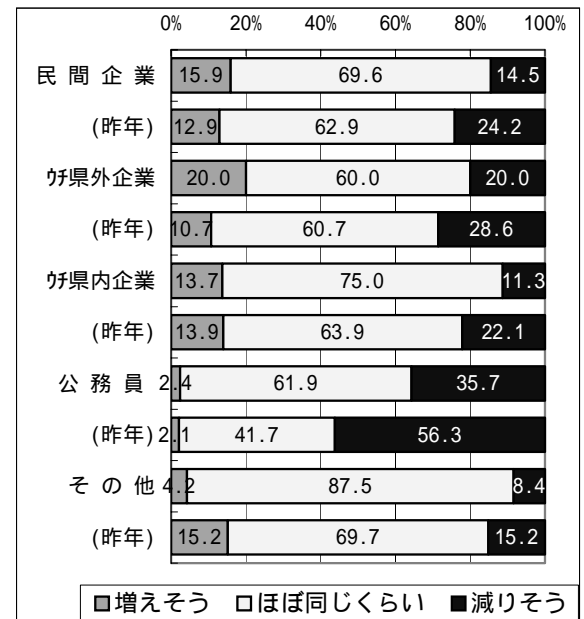
図表1 ボーナスの支給予想



図表2 年代別支給予想



図表3 勤務先別支給予想

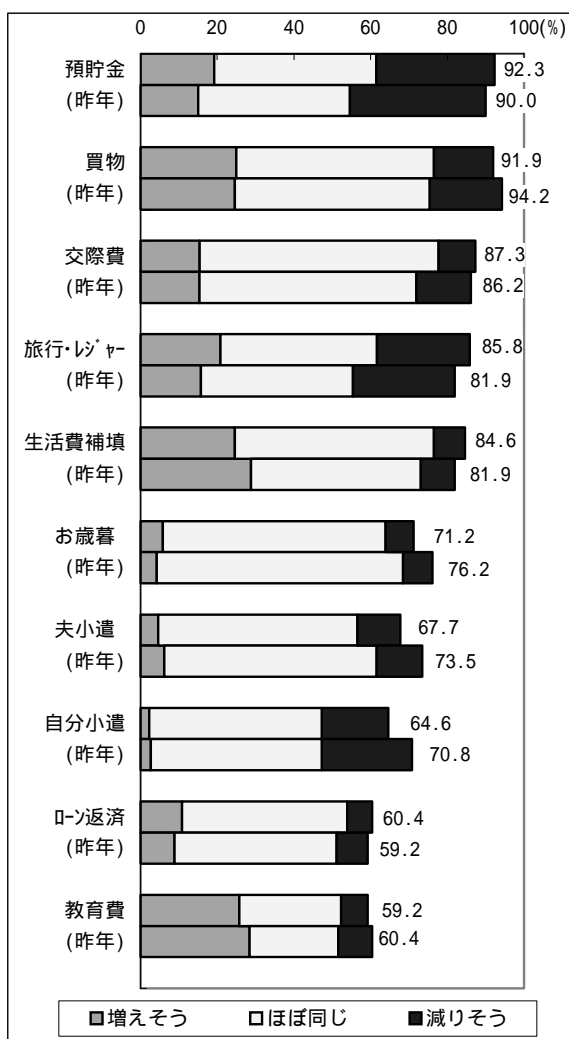


4. ボーナスからの支出予定

ボーナスから支出を予定している内容は「預貯金」という回答が92.3%と最も多く、わずかの差で「買物」(91.9%)が続き、以下「交際費」(87.3%)、「旅行・レジャー」(85.8%)、「生活費補填」(84.6%)の順に多かった。

その中で支出が「増えそう」という回答が昨年を上回ったのは「預貯金」、「旅行・レジャー」、「お歳暮」、「ローン返済」などである(図表4、5)。7割が支給額は昨年とほぼ同様と予想しているだけに、支出予定にも堅実さがうかがわれる結果となった。

図表4 ボーナスからの支出予定



図表5 ボーナスからの支出予定内訳(%)

支出予定	支出予定有り			
	増えそう (%)	ほぼ同じ (%)	減りそう (%)	
預貯金	92.3	19.2	42.3	30.8
(昨年)	90.0	15.0	39.6	35.4
買物	91.9	25.0	51.5	15.4
(昨年)	94.2	24.6	50.8	18.8
交際費	87.3	15.4	62.3	9.6
(昨年)	86.2	15.4	56.5	14.2
旅行・レジャー	85.8	20.8	40.8	24.2
(昨年)	81.9	15.8	39.6	26.5
生活費補填	84.6	24.6	51.9	8.1
(昨年)	81.9	28.8	44.2	8.8
お歳暮	71.2	5.8	58.1	7.3
(昨年)	76.2	4.2	64.2	7.7
夫小遣	67.7	4.6	51.9	11.2
(昨年)	73.5	6.2	55.4	11.9
自分小遣	64.6	2.3	45.0	17.3
(昨年)	70.8	2.7	44.6	23.5
ローン返済	60.4	10.8	43.1	6.5
(昨年)	59.2	8.8	42.3	8.1
教育費	59.2	25.8	26.5	6.9
(昨年)	60.4	28.5	23.1	8.8